



2019年11月16日

各 位

会社名 株式会社 マルマエ
 代表者名 代表取締役社長 前田 俊一
 (コード番号: 6264 東証第一部)
 問合せ先 取締役管理本部長 古江 博
 (TEL. 0996-68-1140)

2019年10月度 月次受注残高についてのお知らせ

当社は、投資家をはじめとするステークホルダーの方々に、より正確に当社を理解していただくために、自社情報のタイムリー・ディスクロージャーを推進しておりますが、その一環として、下記のとおり2019年10月度の月次受注残高を開示いたします。

記

1. 月次受注残高 (百万円未満切捨て)

区分	受注残高	割合	対前月増減率	対前年同月増減率
半導体分野	438	57.3%	2.0%	△23.3%
F P D分野	322	42.2%	△4.4%	103.2%
その他分野	3	0.5%	△32.8%	31.8%
合計	764	100.0%	△1.1%	4.3%

2. 月次受注残高の推移 (百万円未満切捨て)

区分	2018/11	2018/12	2019/1	2019/2	2019/3	2019/4
半導体分野	534	540	521	458	490	555
F P D分野	174	164	174	157	169	185
その他分野	26	4	4	4	3	4
合計	736	709	701	620	663	745

区分	2019/5	2019/6	2019/7	2019/8	2019/9	2019/10
半導体分野	548	536	460	391	429	438
F P D分野	191	206	246	340	337	322
その他分野	6	4	4	4	5	3
合計	747	748	711	737	772	764

3. 月次受注残高の概況

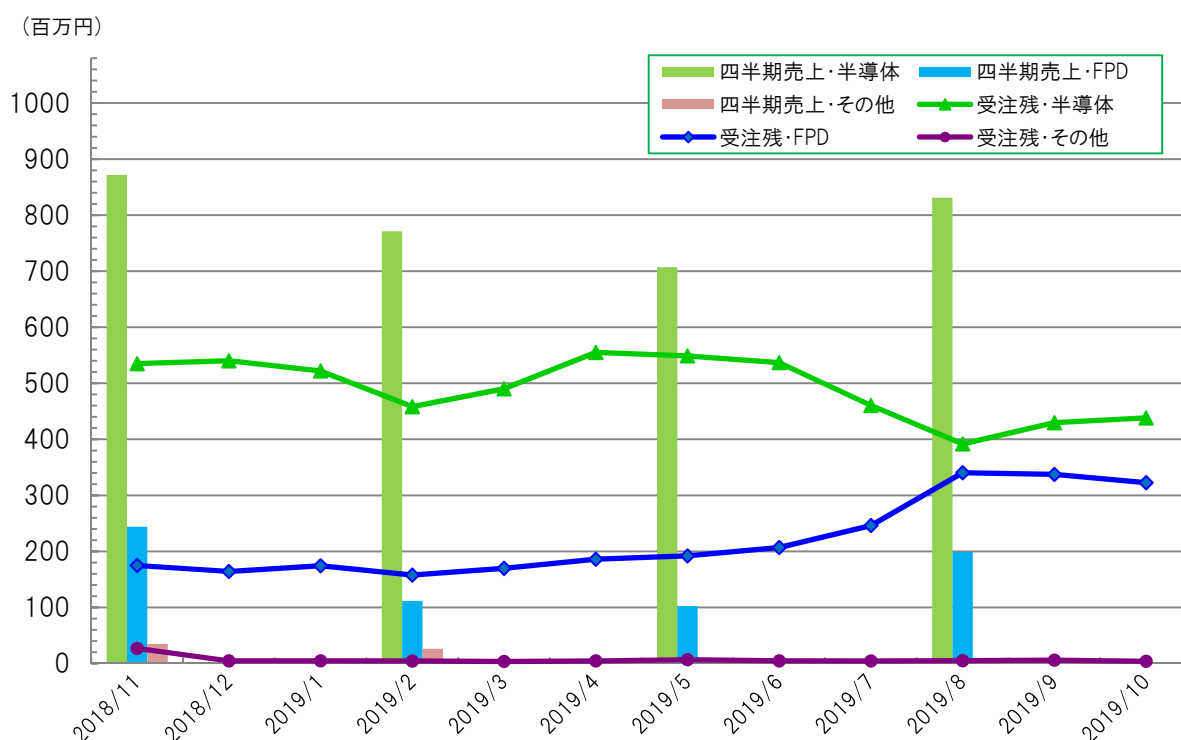
2019年10月末の受注残高は、半導体分野においては、受注は低水準ながらも回復傾向にあり、対前月増減率は2.0%増、対前年同月増減率では23.3%減の438百万円となりました。FPD分野においては、中小型パネル向けの受注及び電子ビーム溶接関連の受注が好調に推移しつつも、出荷検収がさらに多かったことから、対前月増減率は4.4%減、対前年同月増減率では103.2%増の322百万円となりました。その他分野においては、大きな変化はありませんでした。これらの結果、2019年10月末の受注残高は、対前月増減率1.1%減、対前年同月増減率4.3%増の764百万円となりました。

現在の市場環境として、半導体分野では、ロジック向けの需要が堅調な推移をするなかで、メモリ向けの需要が始めました。FPD分野では中小型パネル向けの需要が高まっております。

今後の見通しといたしましては、半導体分野では、ロジック向けの設備投資の回復が続くほか、メモリ向けの需要は来年にかけて回復が続く見通しが出始めました。さらにFPD分野では、電子ビーム溶接機を活用した受注を中心に需要は拡大傾向と見込んでおります。その他分野につきましては、引き続き、当社の各種生産能力を活用した受注活動を行ってまいります。

以上

(参考：分野別 過去一年間の四半期売上高と月次受注残高の推移)



注1. 上記受注残高の数値は、速報値であるため、翌月以降に修正される可能性があります。また、監査法人による会計監査を受けておりませんので、本決算の数値とは差異が発生する可能性があります。

2. 当社の受注残数値は、受注別に長短さまざまなリードタイムを持つことから、売上高と直接関連するものではありません。リードタイムの長い案件が増えると受注残が多くなり、リードタイムが短く当社月間生産能力範囲内の受注が増えると受注残が減る傾向となっております。